

【特別調査】

(2023年度第2四半期)

外国人材の雇用に関する調査

1. 調査目的： 当所会員事業所の外国人材の雇用について調査し、今後の意見活動等に反映すること。
2. 調査期間： 2023年9月13日～9月26日（14日間）
3. 調査方法：（1）姫路市内に本店を置き、F a x 番号登録のある当所会員事業所  
（2）2023年度第2四半期 景気動向調査とあわせて調査

(回答率)

調査事業所数	回答事業所数	回答率
4,575	1,130	24.7%

※景気動向調査の回答数 1,154件のうち、特別調査への回答数は 1,130件

(回答事業所の業種別構成比)

	事業所数	構成比
全 体	1,130	100.0%
建設業	233	20.6%
製造業	217	19.2%
卸売業	117	10.4%
小売業	152	13.5%
サービス業	213	18.8%
その他	198	17.5%
情報通信業	12	1.1%
運輸業	45	4.0%
金融・保険業	23	2.0%
不動産業	37	3.3%
飲食・宿泊業	42	3.7%
医療・福祉	31	2.7%
教育・学習支援業	8	0.7%

(回答事業所の規模別構成比)

	事業所数	構成比
全 体	1130	100.0%
小規模	714	63.2%
中規模	373	33.0%
大規模	43	3.8%

【小規模】

「1～5人」

：情報通信業、卸売業、小売業、  
飲食・宿泊業、医療・福祉、  
教育・学習支援業、サービス業

「1～20人」

：建設業、製造業、運輸業、金融・保険業、  
不動産業

【中規模】

「6～50人」

：小売業、飲食・宿泊業

「6～100人」

：情報通信業、卸売業、医療・福祉、教育・  
学習支援業、サービス業

「21～300人」

：建設業、製造業、運輸業、金融・保険業、  
不動産業

【大規模】

：上記【小規模】【中規模】を除く区分。

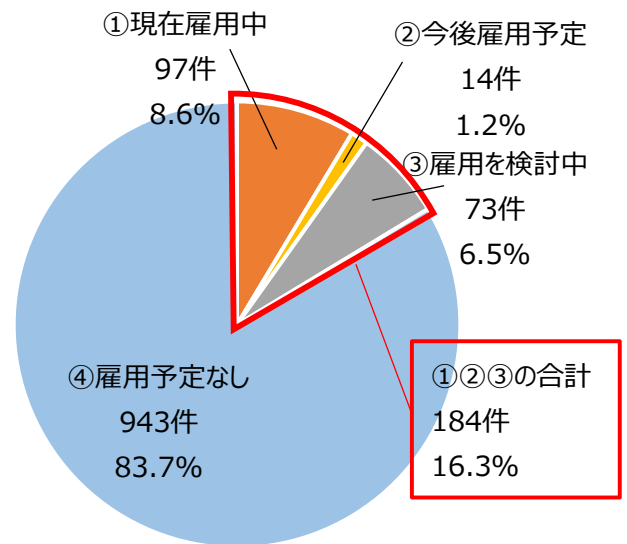
問1. 外国人材の雇用状況について、該当する番号を1つ選んでください。

## ■外国人材の雇用状況

○現在雇用中は97先（8.6%）、今後雇用予定は14先（1.2%）、雇用を検討中は73先（6.5%）合計184先（16.3%）だった。

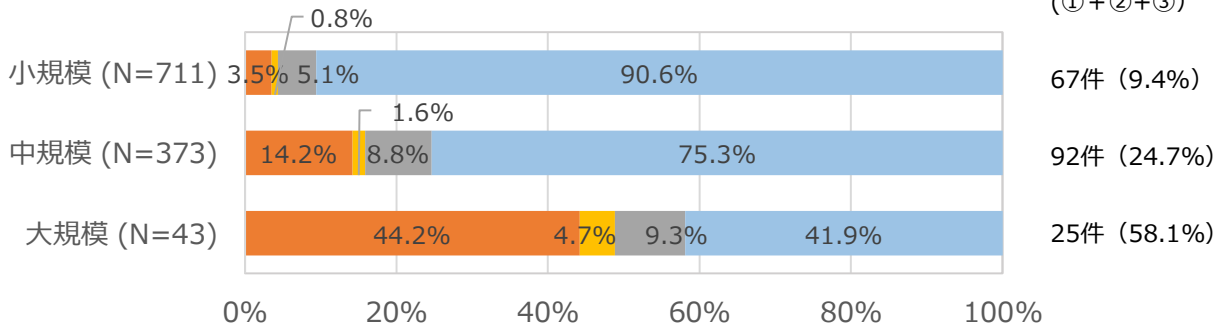
○上記の比率を規模別で見ると、小規模は9.4%、中規模は24.7%、大規模では58.1%であった。

○同様の比率を主要業種で見ると、製造業の28.7%、建設業の15.9%が高くなっている。



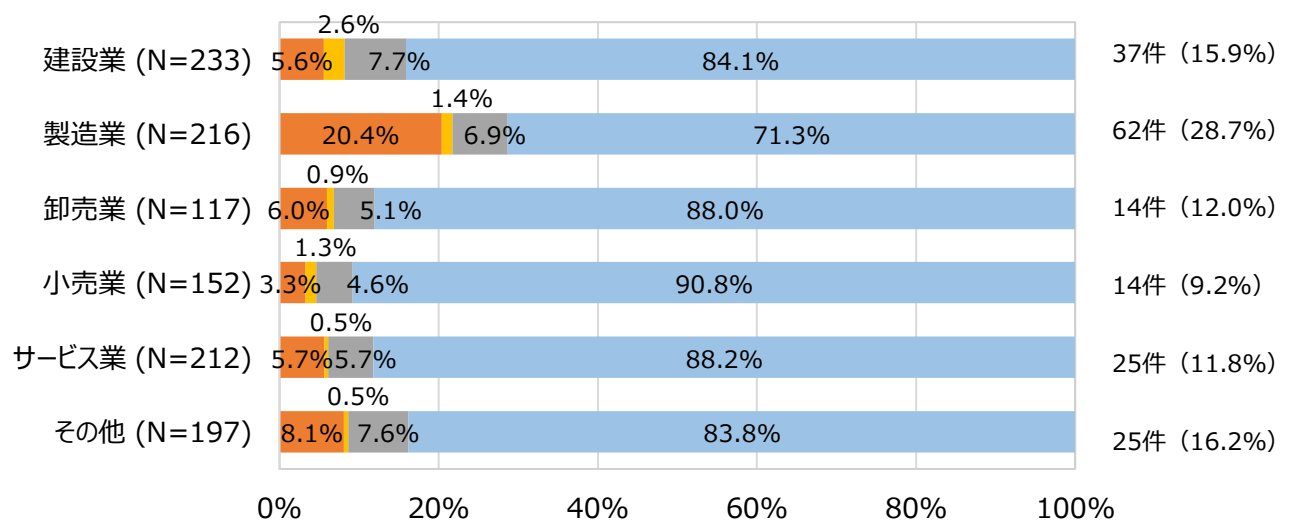
N=1,127

## ■規模別の状況



(①+②+③)

## ■業種別の状況



(①+②+③)

■ ①現在雇用中    ■ ②今後雇用予定    ■ ③雇用を検討中    ■ ④雇用予定なし

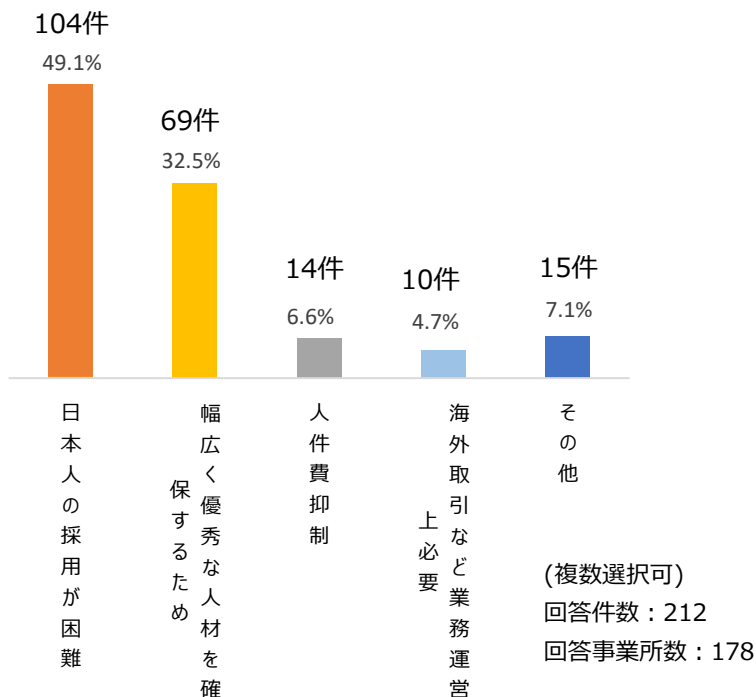
問2-1. 問1で、①～③を選択した場合、その理由について、該当する番号を選んでください。

## ■雇用する理由の状況

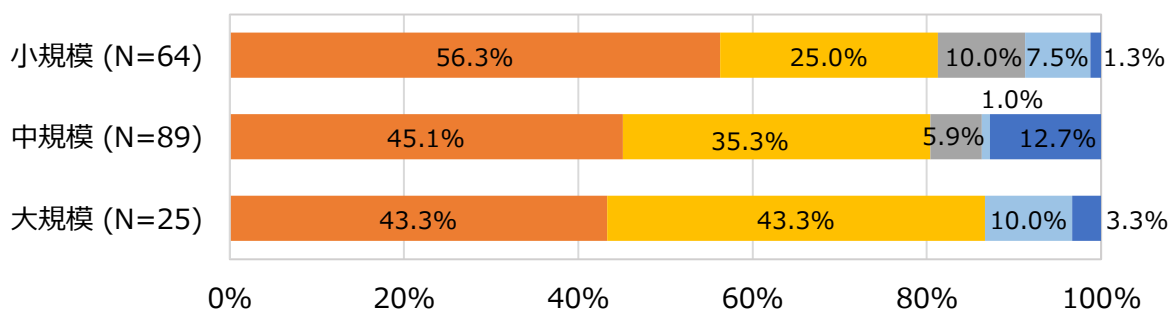
○「日本人の採用が困難」「幅広く優秀な人材を確保するため」が多数を占めた。

○規模別で見ると、小規模では「日本人の採用が困難」との理由の割合が、中規模、大規模に比べて高くなっている。

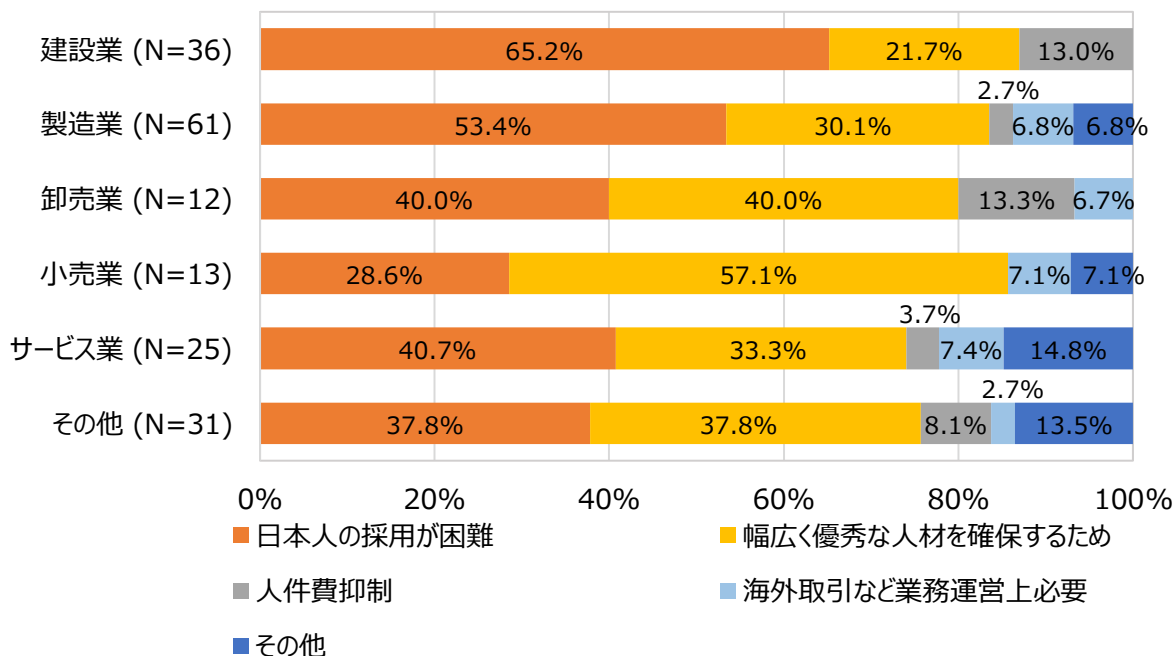
○主要な業種で見ると建設業、製造業、サービス業、卸売業の順で、「日本人の採用が困難」とする割合が高い。



## ■規模別の状況



## ■業種別の状況



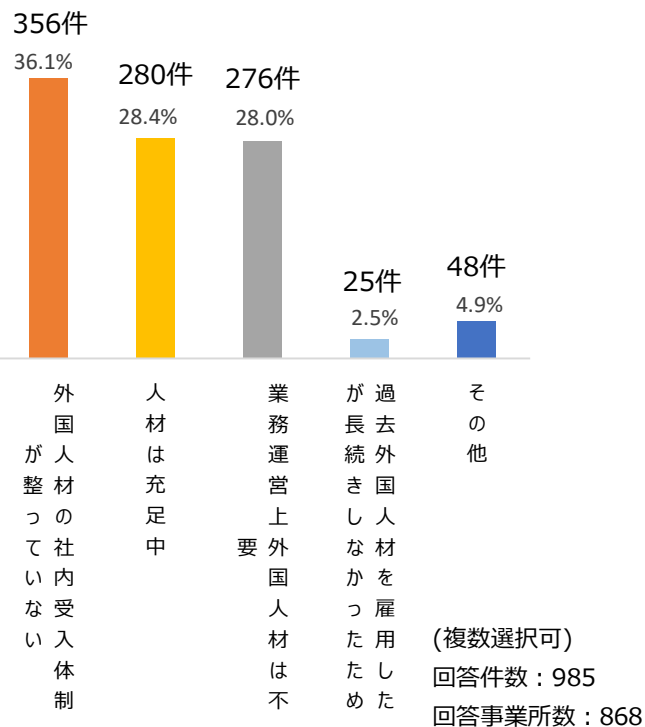
問2-2. 問1で、④を選択した場合、その理由について、該当する番号を選んでください。

### ■雇用を予定しない理由

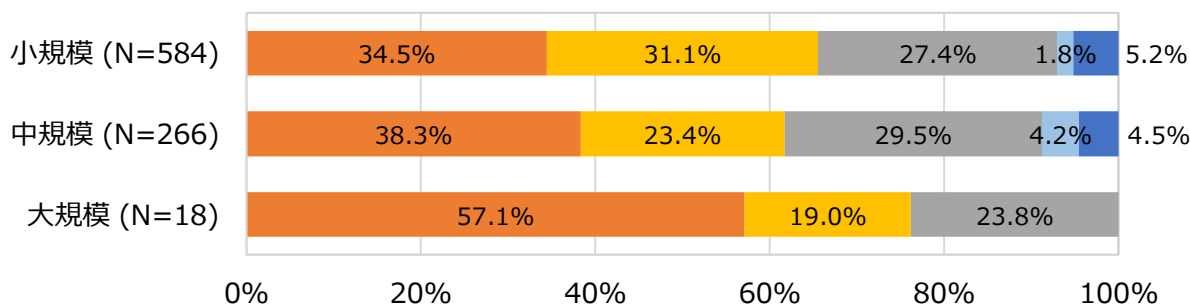
○「社内受け入れ体制が整っていない」が、最も多く次いで、「人材は充足中」「業務上外国人材は不要」が続いた。

○規模別で見ると、規模にかかわらず「社内受け入れ体制が整っていない」が最も多かった。

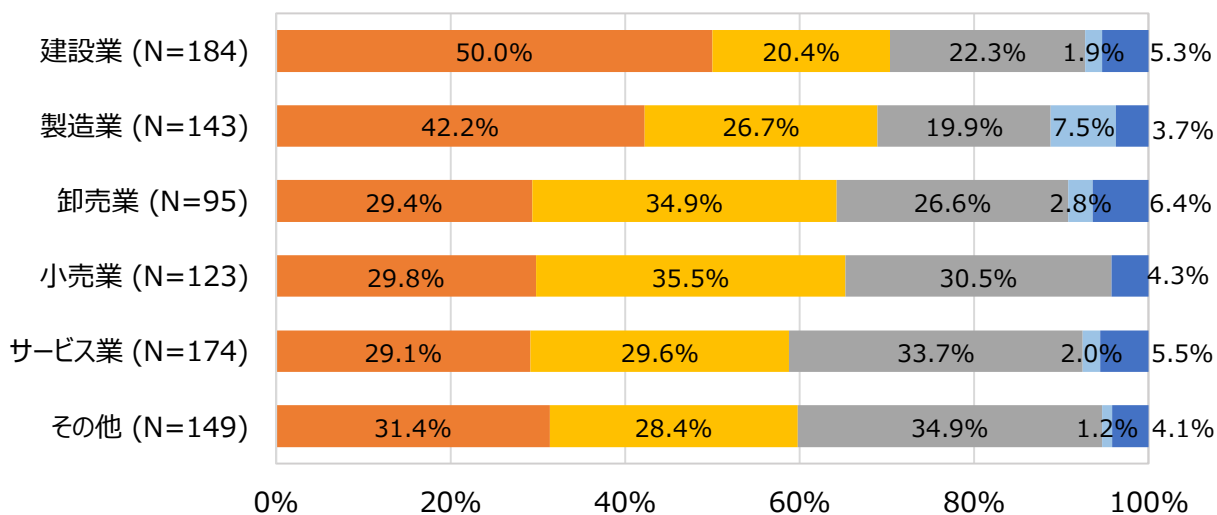
○主要な業種で見ると、建設業、製造業では、「社内受け入れ体制が整っていない」、が最も多かった。卸売業、小売業では、「人材は充足中」が、サービス業では、「業務上外国人材は不要」が、それぞれ最も多かった。



### ■規模別の状況



### ■業種別の状況



- 外国人材の社内受け入れ体制が整っていない
- 人材は充足中
- 業務運営上外国人材は不要
- 過去外国人材を雇ったが長続きしなかったため
- その他

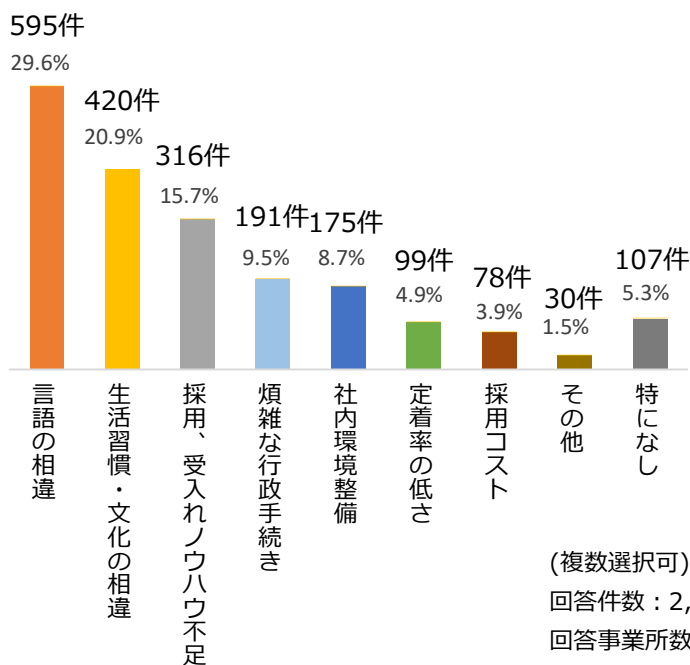
問3. 外国人材を雇用するにあたり、課題となるものを選んでください。

### ■雇用にあたっての課題

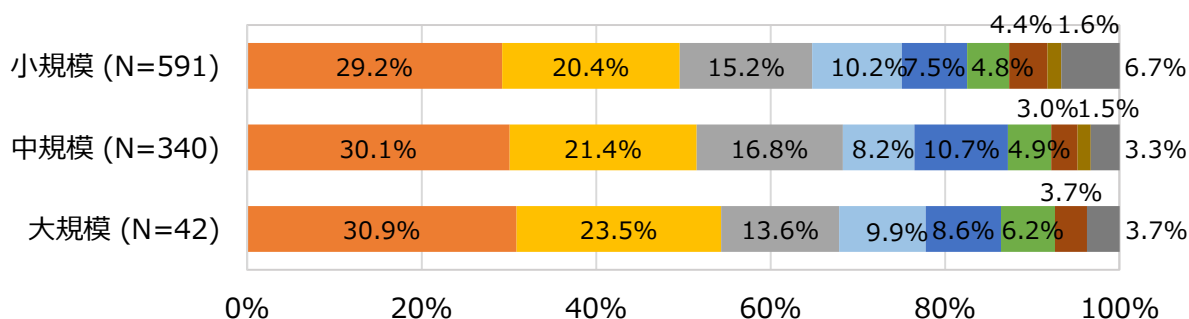
○「言語の相違」が最も多く、次いで「生活習慣・文化の相違」「採用、受け入れノウハウ不足」「煩雑な行政手続き」が続く。

○規模に関わらず、課題の各項目の順位は同じであった。また各比率についても大きな乖離は見られなかった。

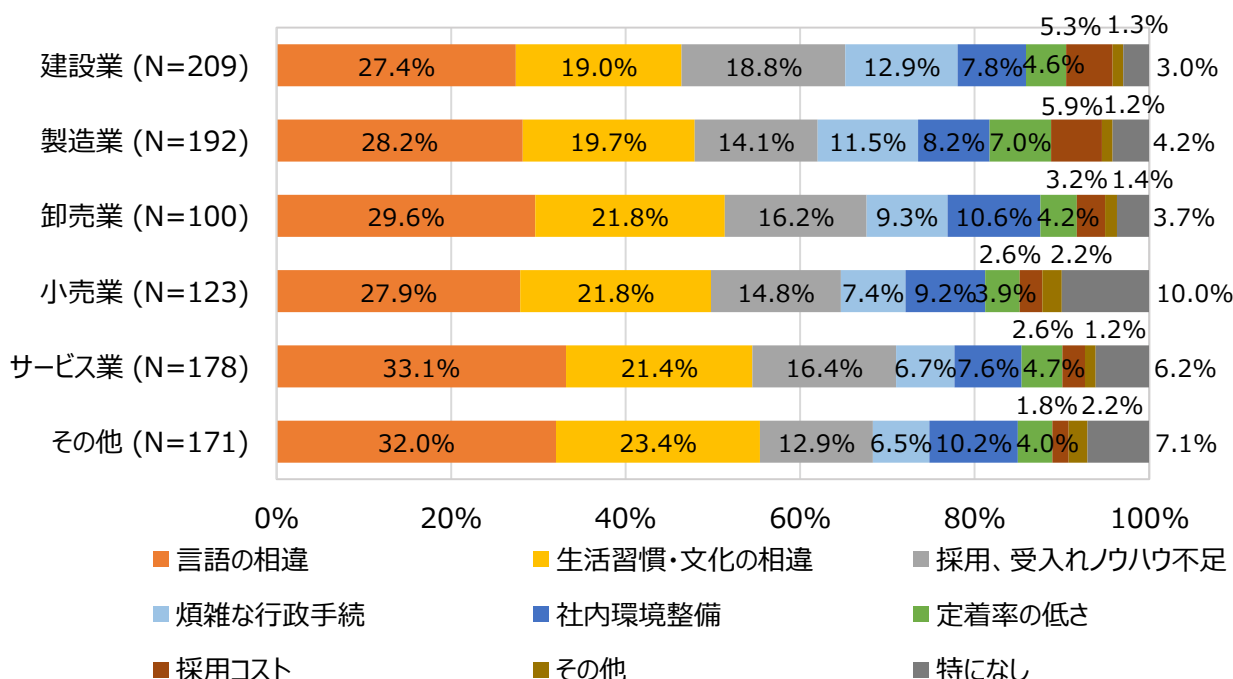
○主要な業種で見ると、サービス業、卸売業、製造業の順に、「言語の相違」の割合が多くなっている。



### ■規模別の状況



### ■業種別の状況



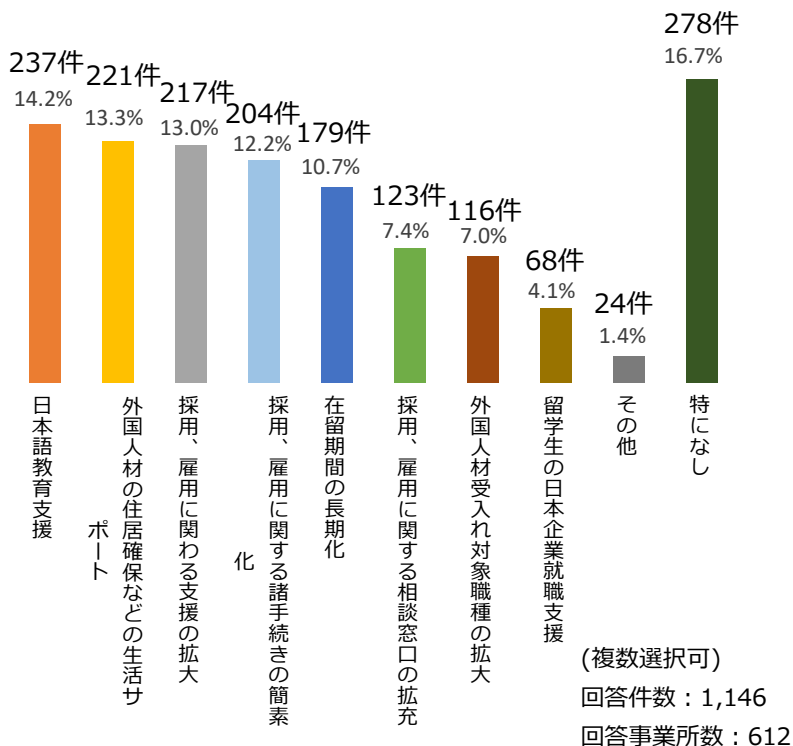
問4. 外国人材を雇用するにあたり、要望する政策の番号を選んでください。

### ■雇用にあたって要望する政策

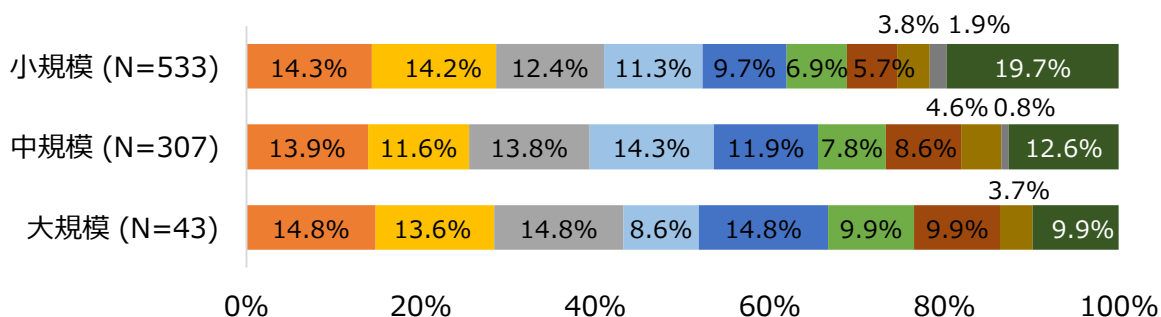
○「日本語教育支援」が最も多く、次いで「外国人材の住居確保などの生活サポート」「採用、雇用に関わる支援の拡大」が続く。

○規模別で見ると、小規模では、「日本語教育支援」が最多だった。中規模では、「採用、雇用に関する諸手続きの簡素化」が最多であった。大規模では、「日本語教育支援」「採用、雇用に関わる支援の拡大」「在留期間の長期化」が同数で最多だった。

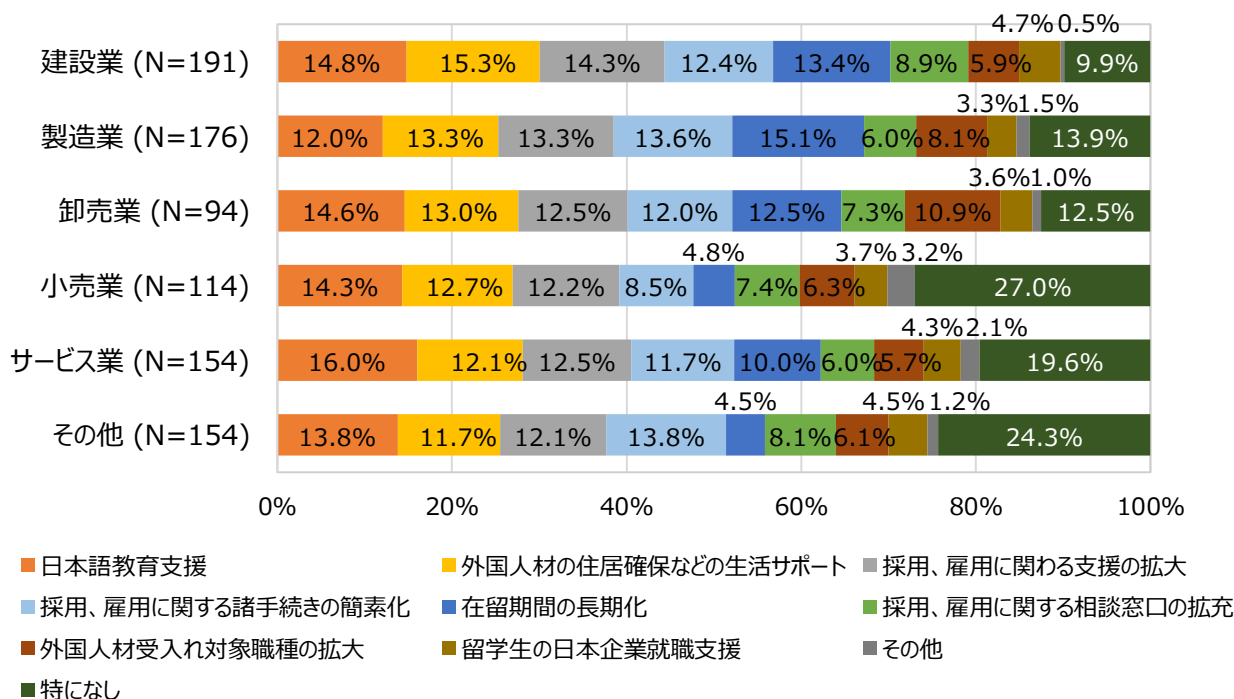
○主要な業種で見ると、建設業では、「外国人材の住居確保などの生活サポート」製造業では「在留期間の長期化」がそれぞれ最多だった。また、卸売業、小売業、サービス業ではいずれも「日本語教育支援」が最多だった。



### ■規模別の状況



### ■業種別の状況

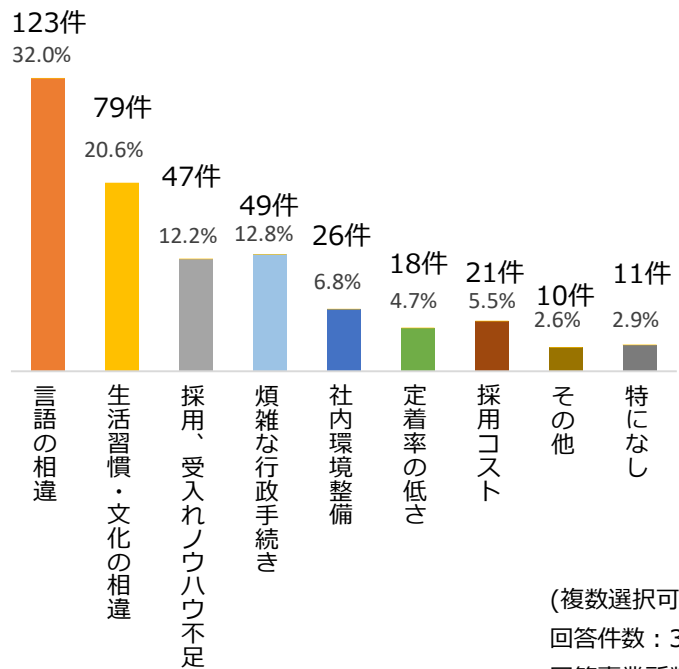


(参考) 問3.及び問4.について、問1.にて「①現在雇用中」・「②今後雇用予定」・「③雇用を検討中」を、選択された計184先の回答を集計した。

## ■雇用にあたっての課題

○全体の回答と比較すると、1位の「言語の相違」と、2位の「生活習慣・文化の相違」は同様だったが、3位に「煩雑な行政手続き」が上昇した。

	(973先) 全体	(184先) ①～③
言語の相違	29.6%	32.0%
生活習慣・文化の相違	20.9%	20.6%
採用・受入れノウハウ不足	15.7%	12.2%
煩雑な行政手続き	9.5%	12.8%
社内環境整備	8.7%	6.8%

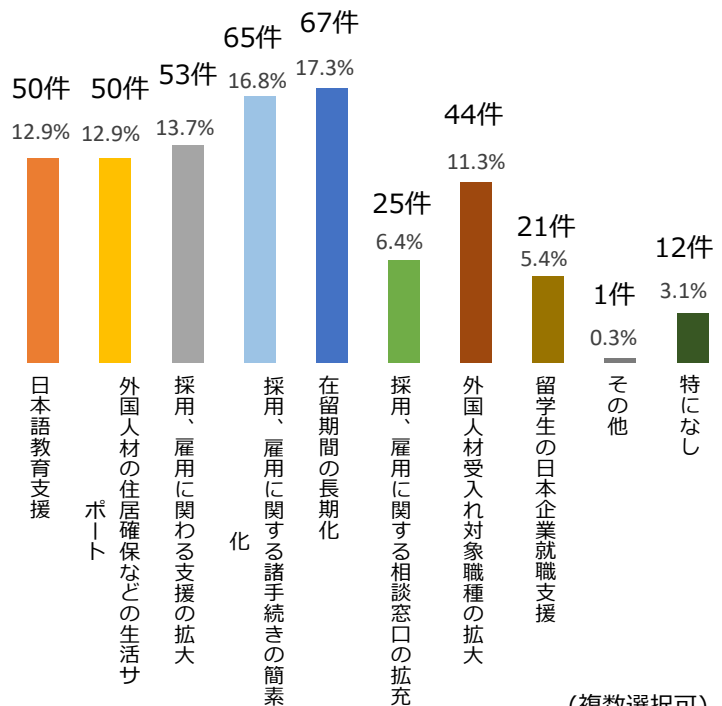


(複数選択可)  
回答件数：384  
回答事業所数：184

## ■雇用にあたって要望する政策

○全体の回答と比較すると、1位が「在留期間の長期化」、2位が「採用、雇用に関する諸手続きの簡素化」、3位が「採用、雇用に関わる支援の拡大」となり、上位3項目が、大きく入れ替わった。

	(612先) 全体	(179先) ①～③
日本語教育支援	14.2%	12.9%
住居確保などの生活サポート	13.3%	12.9%
採用・雇用に関わる支援の拡大	13.0%	13.7%
同上に関する諸手続きの簡素化	12.2%	16.8%
在留期間の長期化	10.7%	17.3%



(複数選択可)  
回答件数：388  
回答事業所数：179

2023年度第2四半期 姫路市内景気動向調査結果（特別調査）

姫路商工会議所 姫路経済研究所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

T E L : 079-223-6555（直通）

F A X : 079-288-0047

U R L : <https://www.himeji-cci.or.jp/>